

れいわ ねんど かくきかん さべつかいしょう む とりくみじょうきょう
Ⅰ 令和5年度 各機関における差別解消に向けた取組状況

かくきかん とりくみ
(Ⅰ) 各機関における取組について

ばんごう 番号	とりくみ ないよう 取組の内容
1	しりょう 【資料1-2】のとおり
2	しょうがいしゃ さべつかいしょうほうかいせい かん けんしゅう じっし しりょう 障害者差別解消法改正に関する研修を実施した。【資料1-3】
3	じゅぎょう かつどう がっこうせいかつぜんばん しえん ば じどうせいと じったい おう きょういく おこな きょういく 授業などの活動はもちろん、学校生活全般が支援の場であり、児童生徒それぞれの実態に応じた教育を行っています。その教育 ぜんたい しょうがいしゃ さべつかいしょう む とりくみ い かんが さべつかいしょう ことば しょう じゅぎょう 全体が障害者差別解消に向けた取組と言えます。考えます。“差別解消”という言葉を使用して授業などをすることはほぼありません じ こじつげん む じ た みと あ しょうらい み す いしき とりくみ じっせん ほんこうどくじ が、自己実現に向けて、自他ともに認め合い、それぞれの将来を見据えた、つまり“キャリア”を意識した取組を実践するため、本校独自の キャリアマトリックスを策定し、支援計画などに活用できるよう、現在整備しております。 きょういん たい ないよう と きかい しんたいてき せつしよく おお がっこう こじんじょうほう と あつか せいひがい せい 教員に対しては、デリケートな内容をやり取りする機会や、身体的な接触も多くなる学校として、個人情報取り扱いや、性被害・性 かがい ふく せいきょういく こ じんけん ちよっけつ かんてん こうない かんけいかくしょ れんけい かい こうないけんしゅう おこな 加害を含む性教育についても子どもたちの人権に直結するという観点で、校内の関係各所と連携し、2回の校内研修を行いました。 ていきてき おこな きょういん じどうせいと せつ かた ふ かえ きかい もう ほか ねんかん とお しえん また、定期的にアンケートを行い、教員が児童生徒との接し方について振り返る機会を設けております。その他にも年間を通して支援 きょういく にな きょういん ふ じっし じんけんけんしゅう さんか せんもんせい こうじょう はか 教育を担う教員として、府の実施する人権研修に参加するなど、専門性の向上を図っております。

ばんごう 番号	とりぐみ ないよう 取組の内容
4	しょうがいしゃさべつ かいしょう かん けんしゅう か き じっし 障害者差別の解消に関する研修を下記のとおり実施しました。 いっばんふくむけんしゅう しょうがいしゃさべつかいしょうほう れいわ ねんど ・e ラーニングによる一般サービス研修（障害者差別解消法）（令和5年度12月実施） そうだんいん けんしゅう ろく がしちょうけいしき しょうがいしゃさべつかいしょうほう れいわ ねんど とちゅうさいよう ひじょうきんしよくいんぜんいん じゅこう がつじっし ・相談員マナー研修（録画視聴形式、障害者差別解消法） 令和5年度に途中採用した非常勤職員全員が受講（8月実施） かんりかんとくしゃけんしゅう ろく がしちょうけいしき しょうがいしゃさべつかいしょうほう れいわ ねんど じちよう じゅこう ・管理監督者研修（録画視聴形式、障害者差別解消法） 令和5年度6月に次長が受講 じんけんもんだいけんしゅう こうぎけいしき しょうがいしゃさべつかいしょうほうどう かんりかんとくしゃけんしゅう じゅこう じちよう こうし ・人権問題研修（講義形式）障害者差別解消法等について、「管理監督者研修」を受講した次長が講師 れいわ ねんど れいわ ねん がつ がつ ぜんしよくいん ひじょうきんしよくいん じゅこう 令和5年度 令和5年7月～8月にかけて、全職員・非常勤職員が受講
5	とく 特になし。
6	れいわ ねん がつ にち げつ だい かいじんけんしゅうかん がいどうけいはつ とき いっしょ し ない しょうがいしゃしせつ ぶつびん のうにゅう 令和6年12月2日（月）「第76回人権週間」の街頭啓発の時、チラシと一緒にグッズとして、市内の障害者施設から物品を納入し てもらい配布しました。
7	さくせい ヘルプマーク PR のためのヘルプマークリーフレットの作成。

ばんごう 番号	とりぐみ ないよう 取組の内容
8	かぶしきがいしゃ はんきゅう せつぐうけんしゅう にちじ れいわ ねん がつ にち げつ いばらきえいぎょうしょ ・株式会社 阪急バス 接遇研修 日時 令和5年 10 月30日(月) 茨木営業所 ないよう しょうがいり かい し かくしやうがい くるまいす 内容 障害理解について(視覚障害、車椅子、コミュニケーション) こうえきざいだん ほうじん いばらきしぶん かしんこうざいだん せつぐうけんしゅう ・公益財団法人茨木市文化振興財団 接遇研修 がふ にち すい ち てき はったつしやう じ かぞく たいするせつぐう 6月5日(水) 10:00～12:00 「知的・発達障がい児とその家族に対する接遇」 がふ にち すい くるまいす せつぐうけんしゅう 6月26日(水) 10:00～12:00 「車椅子にかかる接遇研修」 がふ にち すい せいしんしやうがい せつぐうけんしゅう 6月26日(水) 13:00～14:30 「精神障害にかかる接遇研修」 しゃかいふくしきやうぎ かい ふくしたいけんがくしゅうかい しょうがっこう こうとうがっこう ・社会福祉協議会 福祉体験学習会(小学校、高等学校など)
9	しょうがっこう ちゅうがっこう しみん こうりゅう と く 小学校や中学校、市民との交流の取り組み しょうがっこう こうりゅうじゅぎやう ・小学校との交流授業 しょうがっこう ねんせい たいけんこうりゅう やく めい どうほうじん しゅうろうし えん じぎやうしょ しゅうろうい こう せいかつくんれん 小学校6年生のボランティア体験交流。3 クラス約90名。当法人のデイケア、就労支援事業所(就労移行・生活訓練)にてボランテ ィア体験。利用者と一緒にプログラムに参加してもらい交流。事前に法人職員が小学校に出向き、障がいのことや活動内容などの 説明会を行なっている。 となり こうく しょうがっこう こうりゅうい べんと かいさい うご つな ⇒隣の校区の小学校でも交流イベントを開催する動きに繋がっている。 ちゅうがっこう こう ごりゅう とし しょうがっこう じんけんきやういく こうりゅう きかい さ おお と く い こう 中学校で 2校が合流した時に、小学校での人権教育や交流の機会の差が大きくなならないよう取り組みたいとの意向。 ち いきこうりゅうかつどう ちゅうがっこう こうりゅうたつきゅうたいかい かいさい ・地域交流活動として、中学校区で交流卓球大会を開催。 ちゅうがっこうたつきゅうぶ きやういん どうほうじん でい け ありやうしや しゅうろうし えん じぎやうし りやうしや ちい かつどうし えん せん た ーりやうしや ふくしいん ほうじん 中学校卓球部、教員、当法人のデイケア利用者、就労支援事業所利用者、地域活動支援センター利用者、福祉委員、NPO法人、ユ ースプラザ利用者、市民卓球サークル等で卓球試合等を通じて交流。日常生活圏域における市民交流として、継続している。

ばんごう 番号	とりくみ ないよう 取組の内容
10	れいわ ねん ど れいわ ねん がつ もんだい かいぎ にんていど なが ぶかい かだい 令和4年度～令和5年10月、「ヘルプマーク問題」について会議(10人程度):長きにわたる部会であった課題。 れいわ ねん どばん さいご じぶん かんが いみ 令和5年度版ヘルプマークリーフレットの最後は「自分たちができることを考えよう」となっており、ヘルプマークそのものの意味や もくてき こんらん み 目的について混乱が見られる。 れいわ ねん がつ ごうりてきはいりよ じよせいきん けんとう にんていど ぶかい で わだい 令和5年8月、合理的配慮のための助成金についての検討(10人程度):部会で出た話題。 えき けっさい たいおうまどぐち むじんか くる しょうがいしゃ いけん さんけん ごうりてきはいりよ きよひ かのうせい 駅や決済レジ、対応窓口の「無人化」に苦しめられる障害者の意見が散見された。合理的配慮の拒否の可能性? れいわ ねん がつ かぜ い じゅうどうしょうがいしゃ けんしゅうかい にんていど しょうがいしゃちいきじりつしえんきょうぎかいけんしゅうかい 令和5年10月、「風は生きよという」重度障害者についての研修会(70人程度):障害者地域自立支援協議会研修会 ひと い いみ ひつよう じゅうどうしょうがいしゃ たっかん しょうがいしゅべつ こ きょうかん う だ いけん ふ 「人が生きるのに意味なんて必要ない」という重度障害者の達観が、障害種別を超えた共感を生み出している、との意見を付した。 れいわ ねん がつ とりくみ けんせつぶこうつうせいさくか にんじやく ない どうろ のきした こうきょうしせつない か 令和5年11月、「バリアフリーの取組についてー建設部交通政策課」(10人弱):市内の道路、軒下、公共施設内のバリアフリー化 せつめい についての説明。 せいかつかんれんしせつ じゅうてんせいびちく ようご じちたい どくじていぎ かのう りかい いけん ふ 「生活関連施設」「重点整備地区」といった用語は自治体で独自定義が可能ということが理解されていない、との意見を付した。 れいわ ねん がつ けんがくかい にんていど しんしせつ か じょうきょう けんがく 令和6年2月「おにクル見学会」(10人程度):新施設「おにクル」のバリアフリー化状況を見学。
11	しょうがっこうとう じっし ふくしきょういく 小学校等で実施している福祉教育
12	ちようかくしょう ひと はつねつ ちよくせつらいいん とき ひつだん たいおう じかん さよ だ かぞくさま でんわ りよう 聴覚障がいのある人が発熱して直接来院された時、スタッフとナースが筆談で対応。時間差呼び出しはご家族様のTelを利用する とどこお ちりよう けんしゅう じゅんび ごじつ かた ゆうじんおなじくちようかくしょう ひと しんだん など、滞りなく治療できました。研修と準備してよかったです。後日、その方のご友人同じく聴覚障がいのある人も診断にみえた おおむ まんぞく あんしん ので、概ね満足していただけたのかなと安心しました。